

© 磐田市

磐田市イメージキャラクター
しっぺい

旧岩田小学校の利活用について
～地域コミュニティ拠点の整備～

磐 田 市

企画部 資産経営課

0.磐田市の概要

・日本のほぼ中央、静岡県西部の天竜川東岸に広がる地域であり、遠州灘に面しています。
・鉄道は、東海道本線が市の中央部を横断し、天竜浜名湖線が市の北部を縦断しており、道路は、東名高速道路、新東名高速道路、国道1号、150号、150号バイパスがあり、東西方向の交通体系に恵まれています。

面　積　163.34㎢
人　口　162,983人（令和8年9月末日現在）

スポーツのまち

Ｊリーグ「ジュビロ磐田」、ラグビー「静岡ブルーレヴズ」の活動拠点であり、地域ブランド調査2026において「スポーツのまち」として思い浮かぶ市町村ランキングで１位になるなど「スポーツのまち」として有名。日常生活にスポーツが溶け込み、スポーツライフを楽しむことができるのが魅力。幼稚園や小学校などでは、プロチーム選手が学校訪問するなど交流が行われている。

産　業

金属、自動車、楽器などの工業都市として、また、農業産出額も県内屈指で農・水産物として温室メロンや茶、白ねぎ、海老芋、中国野菜、シラスなどが有名。都市部と農村部が均衡ある発展を遂げている。

歴　史

奈良時代には、遠江国分寺と遠江国府が置かれ、古墳時代に造られた900基以上の古墳が現存するなど、歴史が語りつがれているまち。江戸時代には、東海道五十三次見付宿として繁栄するなど、東西交通の要所として発展してきた。



1.事業概要

「地域コミュニティ拠点機能を有する旧岩田小学校利活用検討調査」

・令和8年3月末に閉校した旧岩田小学校の校舎、屋内運動場、グラウンドなどの既存施設を、地域のまちづくり拠点と民間機能を組み合わせた施設とし、賑わいの維持・地域住民の満足度向上を目指していきたいと考えています。
・民間事業者の皆さまのアイデアやご意見をいただき、利活用の方向性や事業手法を検討したいと考えております。

1　現　況

・令和8年4月、向陽学府小中一体校の開校に伴い、旧岩田小学校は閉校しました。
・令和9年3月末まで、一部を放課後児童クラブとして継続利用しています。
・指定緊急避難場所（土砂災害時）及び指定避難所となっています。

2　課題・目的

・天竜川の洪水浸水想定区域にあたります。
・静岡県の耐震基準と同様に診断済みですが、今後の活用の状況によって、耐震改修等の要否の検討が必要です。
・賑わいの低下が懸念されるため、早急に利活用の方針や検討状況を対外的に示す必要があります。

3　利活用検討の経緯

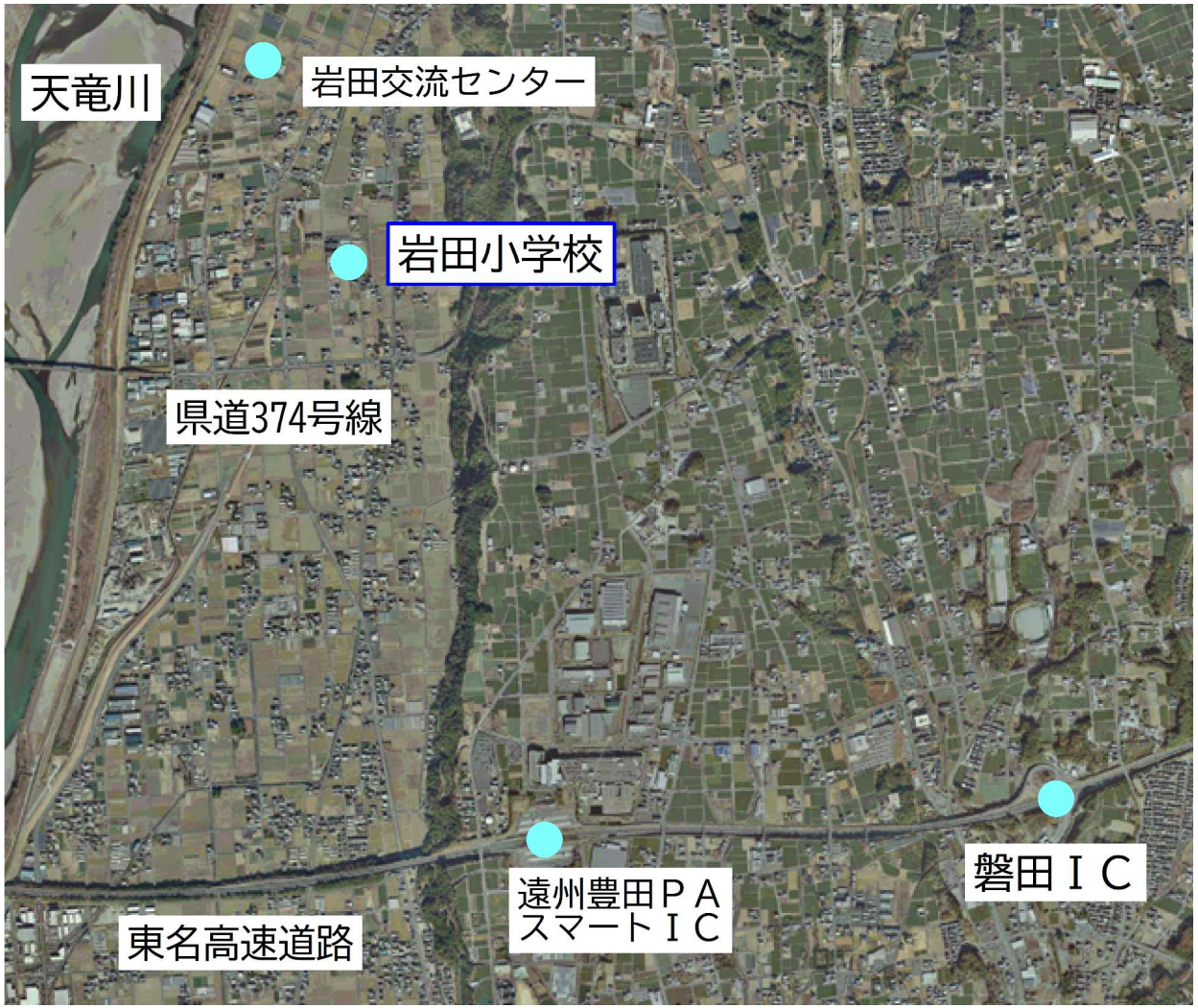
・令和2年度に教育委員会内、令和5・6年度に公共施設再配置検討委員会において、利活用の検討を行ってきました。
・地域住民や各種団体により構成される、岩田地域づくり協議会が、令和4年に全住民アンケートを実施しているため、同協議会と対話を続けていきます。



2.事業予定地

2-1.旧岩田小学校の位置図

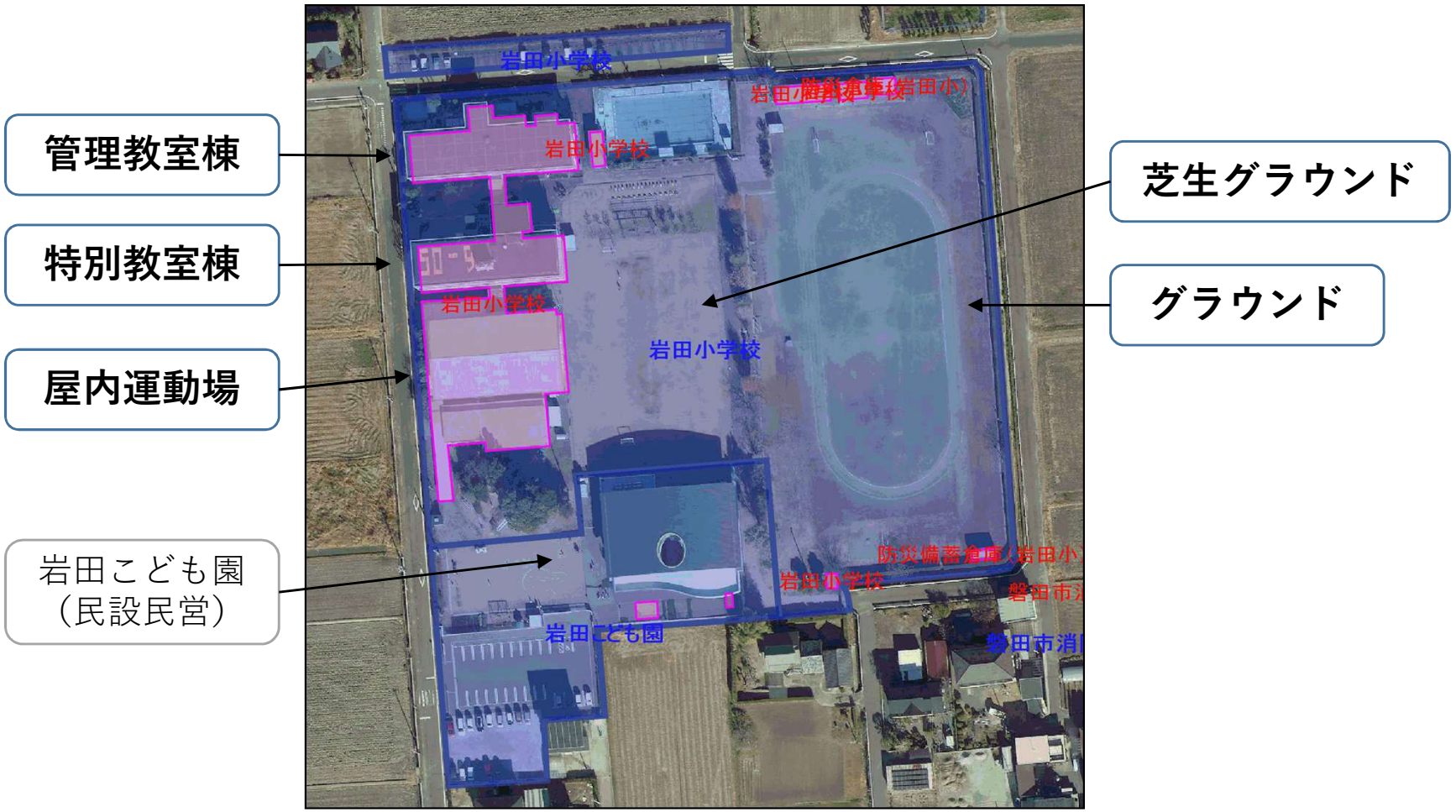
・旧岩田小学校は市の中部、農村地域に位置しています。
・付近に磐田市を東西に横断する県道374号線があり、また、東名高速道路遠州豊田PAスマートI.C及び磐田I.Cが車で10分以内の距離にあり、交通アクセスは良好です。



2.事業予定地

2-2.旧岩田小学校の敷地図

・旧岩田小学校は敷地の西側に校舎、屋内運動場が建っており、中央に芝生のグラウンド、東側に土のグラウンドがあります。
・敷地の南に隣接して、岩田こども園（今回の事業範囲外）があります。



3.施設の概要

・令和8年4月、小中一体校の開校に伴い、当小学校は閉校しました。
・現在は、一部を放課後児童クラブとして継続利用しています。
　また、指定緊急避難場所（土砂災害時）及び指定避難所となっています。

施設所在地	静岡県磐田市匂坂中987番地
敷地面積	19,007㎡（登記）（屋外運動場含む）
竣工年月・構造	① 屋内運動場　昭和53年2月　鉄骨造1階建 ② 特別教室棟　昭和55年3月　鉄筋コンクリート造3階建 ③ 管理教室棟　昭和60年3月　鉄筋コンクリート造2階建
建物延床面積	① 575㎡ ② 991㎡ ③ 914㎡
耐震性能	① ランクIa ② ランクIa ③ ランクIb （静岡県の耐震基準と同様に診断済み）
改修履歴	平成31年 普通教室空調設備設置工事 屋内運動場LED化工事 令和3年　特別教室空調設備設置工事 令和5年　屋内運動場トイレ洋式化工事
都市計画	市街化調整区域
その他	天竜川の洪水浸水想定区域にあたります。

4.事業内容

4-1.本事業を通じ、磐田市が期待すること

・今後、岩田地域づくり協議会と対話し、地域の意向を確認していくため、現時点では、民間事業者の皆さまのアイデアやご意見をいただき、利活用の方向性や事業手法を探っていきたいという状況です。
・令和８年度、国土交通省の「スモールコンセッション形成推進事業」に採択された案件であり、国と民間事業者の伴走支援を受けながら進めていく予定です。
・本市としては、以下の岩田地区特有の課題解決に繋がる利活用の視点で、市の施設維持管理に関する財政負担をできるだけ軽減した利活用を実現するご意見頂けますと幸いです。

- 岩田地区の交流センター*(公民館)としての機能を有し、校舎や体育館、グラウンドに関して可能な範囲で地域と連携した利活用を期待します。

  *交流センターの業務
  地域づくり活動の支援・講座の開催などの生涯学習の推進・部屋や設備の貸し出し

- 小学校の閉校に伴う地区の衰退が懸念されるため、地区内における賑わいの創出に資する利活用を期待します。

  例：アクティビティや家族向けの遊び場の提供等による関係人口や交流人口の増加が想定される施設

- 地区内において近距離で受けられる生活支援サービスの提供

  例：飲食料品小売業の店舗・医療機関・老人ホームやデイサービスなど

- 上記のほか想定される課題解決に資するご提案

4.事業内容

4-2.本事業の実施に当たっての諸条件

・現時点で具体的な諸条件は設けておりませんが、今後、岩田地域づくり協議会との対話を踏まえ、利活用の方向性を絞り込んでいく予定です。

- 現時点で具体の条件は設定していませんが、前頁に記載した利活用の視点に沿ったご意見を期待します。
- 初期費用、維持管理費用とも、原則として施設や土地を利活用する方のご負担を想定しています。
- 建物の除却や売却について、現時点で行う予定はありません。
- 学校の石碑や門など、思い出として大切にされてきたものについては、可能な限り保存します。

4-3.想定する事業スキーム

・現時点で想定している事業スキームはありませんが、いずれの場合も、市費負担額を極力抑える形での利活用を検討したいと考えています。
・想定しうる事業スキームにつきまして、ご意見をお聞かせください。

4-4.事業スケジュール

・下記の想定スケジュールは最短のものです。協議の進捗により、時期は変動します。

令和8年度	地域対話、エリアビジョンの検討、市場調査、事業手法の検討
令和9年度	基本方針の策定、パブリックコメントの実施、予算措置
令和10年度	施設改修（事業手法により変更あり）
令和11年度	利用開始

5.その他

民間事業者の皆さまにお伺いしたい事項

閉校後の旧岩田小学校が、学校とは別の形で地元や利用者に利用される施設になるよう、本調査への御協力並びに忌憚の無いご意見をお聞かせください。

1　対象施設の利活用の内容に関するアイデア
2　複数事業者(地域含む)による利活用に関するアイデア
3　1・2の実施にあたっての事業手法に関するアイデア
4　利活用事業の実現に必要な諸条件に関する事項
5　利活用事業の実施にあたり支障となる事項

6.参考資料・お問い合わせ先

参考資料の一覧です。ご意見やご回答の参考となれば幸いです。

6-1.参考資料

1　磐田市公共施設等総合管理計画（平成28年策定・令和4年改訂）
https://www.city.iwata.shizuoka.jp/shiseijouhou/keikaku/kurashi_tetsuzuki/1002703.html

2　公共施設カルテ
https://www.city.iwata.shizuoka.jp/shiseijouhou/keikaku/kurashi_tetsuzuki/1012011.html

3　公共建築物の耐震に関するリスト
https://www.city.iwata.shizuoka.jp/bousai_anzen/bousai/jishin_tsunami_sonae/1001145.html

4　天竜川洪水ハザードマップ
https://www.city.iwata.shizuoka.jp/bousai_anzen/bousai/ooame_sonae/1008397.html

6-2.問い合わせ先

磐田市 企画部資産経営課 資産活用推進グループ　木下・近藤
TEL：０５３８－３７－４８０４
E-mail：shisan@city.iwata.lg.jp